

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月2日

上場会社名 大阪工機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3173 URL http://www.osk-k.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳川 重昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部兼経理部長 (氏名) 林 祐介 (TEL) 06(6765)8201
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,546	13.4	201	153.3	207	206.7	120	621.0
29年3月期第1四半期	4,891	△6.0	79	△58.2	67	△63.4	16	△83.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 102百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △40百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	17.51	—
29年3月期第1四半期	2.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	12,934	4,672	35.9
29年3月期	13,222	4,632	34.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,641百万円 29年3月期 4,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	9.00	—	10.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	11,200	13.3	240	45.5	243	67.2	131	135.2	19.07
通 期	23,000	10.0	704	31.9	712	34.6	430	18.9	62.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	6,868,840株	29年3月期	6,868,840株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	220株	29年3月期	220株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	6,868,620株	29年3月期1Q	6,868,620株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年6月30日）における我が国経済は、政府の財政政策と日銀の金融緩和政策を背景に企業収益や雇用環境などの面で緩やかな回復基調が見られました。

一方で、世界経済は、中国等一部では景気の持ち直しの動きが見られましたが、新興国経済の成長鈍化懸念や英国のEU離脱問題、米国新政権の政策動向による不確実性の高まりなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する機械工具業界におきましては、企業の設備投資意欲が高まっていることから工作機械受注額は堅調に推移しております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、国内外の新規顧客の開拓等を通じて、今後の成長領域の拡大のための取組みを積極的に展開しました。企業の旺盛な設備需要や中国の景気の持ち直し等の外的要因も影響し、当社を取り巻く環境は堅調に推移いたしました。

この結果、第1四半期連結累計期間における売上高は5,546,818千円（前年同四半期比13.4%増）、営業利益は201,622千円（前年同四半期比153.3%増）、経常利益は207,955千円（前年同四半期比206.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は120,266千円（前年同四半期比621.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①切削工具事業

切削工具事業につきましては、自動車業界向けの主要顧客に対する販売が前年同四半期と比較して増加したことなどから、売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は3,454,303千円（前年同四半期比9.7%増）、セグメント利益は91,919千円（前年同四半期比342.2%増）となりました。

②耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、飲料容器メーカー向けの販売が前年同四半期と比較して増加したことなどから、売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は712,077千円（前年同四半期比18.2%増）、セグメント利益は78,252千円（前年同四半期比20.9%増）となりました。

③海外事業

海外事業につきましては、中国、メキシコにおいて自動車業界向けの主要顧客に対する販売が前年同四半期と比較して増加したことなどから売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,151,854千円（前年同四半期比26.7%増）、セグメント利益は23,385千円（前年同四半期は13,499千円のセグメント損失）となりました。

④光製品事業

光製品事業につきましては、外観検査装置業界向けの一部の主要顧客に対する販売が前年同四半期と比較して減少したことなどから、売上高及びセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は228,583千円（前年同四半期比1.2%減）、セグメント利益は8,543千円（前年同四半期比29.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて271,337千円減少し、10,623,634千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が259,250千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて16,860千円減少し、2,310,822千円となりました。これは、主にのれんの償却により、のれんが15,096千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて288,198千円減少し、12,934,457千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて206,228千円減少し、7,126,626千円となりました。これは主に短期借入金の返済により短期借入金が166,818千円、法人税等の支払により未払法人税等が73,833千円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて122,357千円減少し、1,135,433千円となりました。これは、長期借入金が111,360千円減少したことなどによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて328,585千円減少し、8,262,060千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて40,386千円増加し、4,672,397千円となりました。これは、利益剰余金が58,449千円（親会社株主に帰属する四半期純利益120,266千円、剰余金の配当61,817千円）増加した一方で、為替換算調整勘定が22,951千円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,720,109	1,703,228
受取手形及び売掛金	4,888,928	4,629,677
商品	3,840,560	3,857,882
その他	486,594	471,463
貸倒引当金	△41,220	△38,617
流動資産合計	10,894,972	10,623,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	281,178	283,344
土地	892,438	892,438
その他(純額)	159,599	152,281
有形固定資産合計	1,333,217	1,328,064
無形固定資産		
のれん	85,779	70,682
その他	186,073	184,530
無形固定資産合計	271,853	255,213
投資その他の資産		
その他	748,820	754,503
貸倒引当金	△26,206	△26,958
投資その他の資産合計	722,613	727,544
固定資産合計	2,327,683	2,310,822
資産合計	13,222,656	12,934,457
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,638,179	4,676,410
短期借入金	1,646,818	1,480,000
1年内返済予定の長期借入金	511,472	493,140
未払法人税等	124,315	50,481
賞与引当金	153,142	77,268
役員賞与引当金	22,698	16,249
その他	236,228	333,077
流動負債合計	7,332,855	7,126,626
固定負債		
長期借入金	821,181	709,821
役員退職慰労引当金	184,839	179,689
退職給付に係る負債	238,412	232,022
その他	13,357	13,900
固定負債合計	1,257,790	1,135,433
負債合計	8,590,646	8,262,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,198	350,198
資本剰余金	330,198	330,198
利益剰余金	3,818,926	3,877,375
自己株式	△118	△118
株主資本合計	4,499,204	4,557,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,415	51,070
為替換算調整勘定	55,290	32,338
その他の包括利益累計額合計	101,706	83,408
非支配株主持分	31,099	31,335
純資産合計	4,632,010	4,672,397
負債純資産合計	13,222,656	12,934,457

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,891,485	5,546,818
売上原価	3,908,399	4,422,674
売上総利益	983,085	1,124,143
販売費及び一般管理費	903,502	922,521
営業利益	79,582	201,622
営業外収益		
受取利息	200	232
受取配当金	327	1,025
仕入割引	12,766	13,616
補助金収入	—	7,953
その他	1,343	7,407
営業外収益合計	14,638	30,235
営業外費用		
支払利息	5,144	4,950
売上割引	7,979	9,842
為替差損	10,017	5,429
その他	3,285	3,679
営業外費用合計	26,426	23,902
経常利益	67,795	207,955
特別損失		
減損損失	※ 45,552	—
特別損失合計	45,552	—
税金等調整前四半期純利益	22,242	207,955
法人税、住民税及び事業税	15,445	38,672
法人税等調整額	△12,705	47,387
法人税等合計	2,739	86,059
四半期純利益	19,502	121,895
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,822	1,628
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,680	120,266

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	19,502	121,895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,706	4,654
為替換算調整勘定	△45,967	△24,345
その他の包括利益合計	△59,673	△19,691
四半期包括利益	△40,170	102,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,016	101,968
非支配株主に係る四半期包括利益	△154	235

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

当連結会計年度において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

場所	用途	種類	減損損失(千円)
広島県大竹市	倉庫	土地	24,140
		建物	1,100
広島県広島市中区	事務所	建物	20,311

当社グループは、事業用資産については原則として営業エリア毎に、遊休資産については物件単位毎にグループピングを実施しております。

上記資産グループについては、売却を決議したことにより引渡し時点での損失発生が見込まれたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、売却予定価額に基づき算定しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,148,252	602,625	909,236	231,370	4,891,485	—	4,891,485
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,460	—	5,538	—	7,998	△7,998	—
計	3,150,712	602,625	914,774	231,370	4,899,483	△7,998	4,891,485
セグメント利益又は損失 (△)	20,787	64,724	△13,499	12,131	84,144	△4,561	79,582

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△4,561千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

大竹倉庫及び広島支店の売却を決議したことに伴い回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから、報告セグメントに含まれない全社資産の減損損失を認識するに至りました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては45,552千円であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,454,303	712,077	1,151,854	228,583	5,546,818	—	5,546,818
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,484	—	5,673	—	9,158	△9,158	—
計	3,457,788	712,077	1,157,528	228,583	5,555,976	△9,158	5,546,818
セグメント利益	91,919	78,252	23,385	8,543	202,100	△478	201,622

(注) 1 セグメント利益の調整額△478千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。